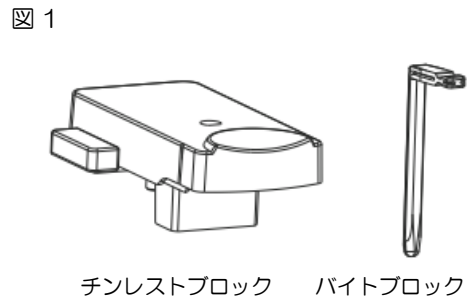
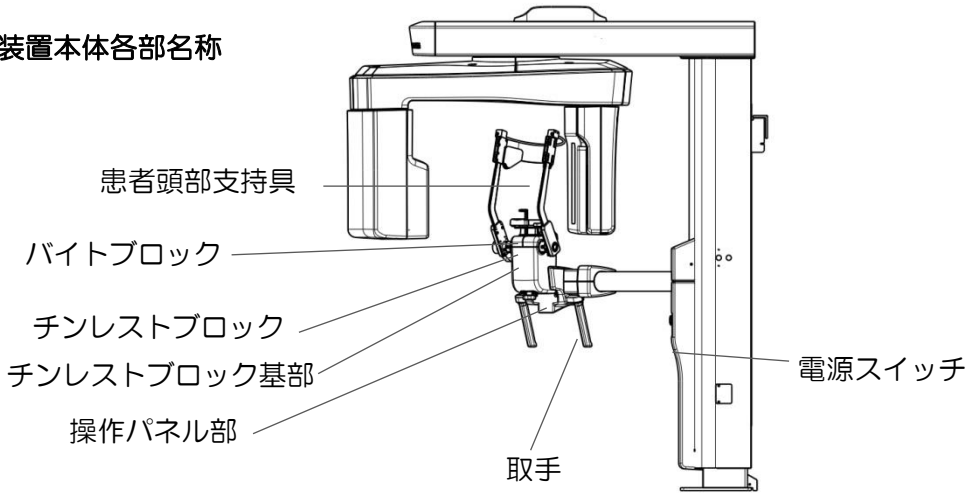
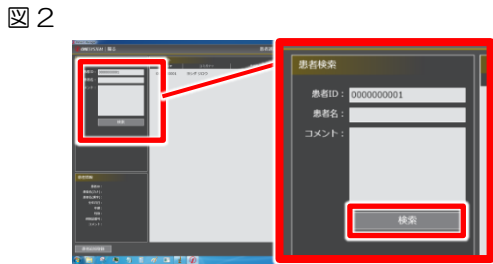


警告 1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。
2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

装置本体各部名称



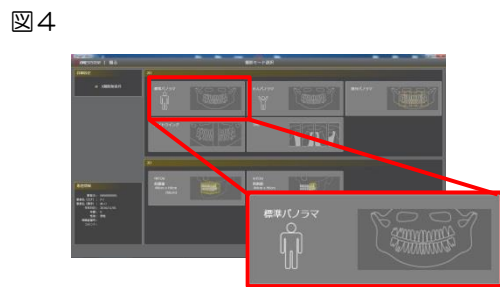
1. 本体準備
チンレストブロック・バイトブロックを用意し、本体電源を入れます。(図1)



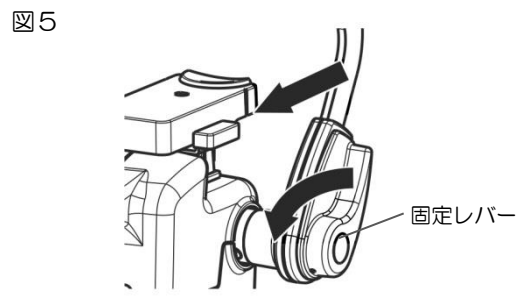
2. 患者選択
■ONESYSTEMの「撮る」ボタンを押して患選択画面を表示します。
■撮影する患者のIDを入力して[検索]ボタンをクリックし、患者情報を検索します。(図2)



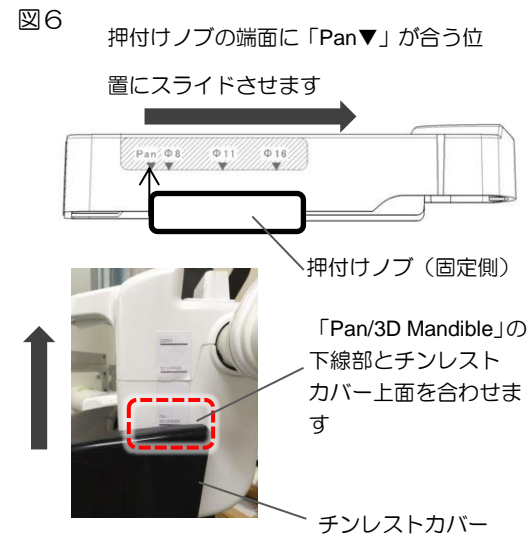
■撮影対象を患者リストから選択します。
「撮影する患者情報」ダイアログが表示されるので、間違いが無ければ「撮影」ボタンをクリックし、「モダリティ選択」ダイアログで「パノラマ・CT」ボタンをクリックします。(図3)



3. 撮影設定
■ONESYSTEM 撮影モード選択画面が表示されたら、「標準パノラマ」をクリックして下さい。(図4)
■操作パネルの「RESET」を押して下さい。



4. 患者導入
■患者頭部支持具の固定レバーを緩め、患者頭部支持具を前方に傾けます。(図5)




■チンレストブロックを取り付け、「Pan▼」マークと押し付けノブの端面を合わせます。(図6)
■バイトブロックを取り付けます
■チンレスト高さを最上位置にあわせませす。



■患者を導入します。背筋を伸ばし取手を軽く握り、バイトブロックの溝を噛むように指示します。(図7)
■操作パネルの「BEAM」を押すと、位置付けビームが点灯します。



注意
1. X線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者のX線撮影は法律により禁止されています。
2. 患者にはX線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。
3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者へ絵の使用は避けてください。
4. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。

**警告**

1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。

2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

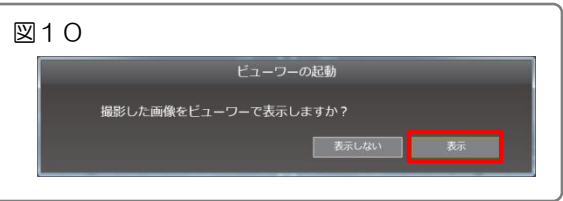



5. 位置づけ（図8）
- 患者の正中矢状線を正中マークと合わせます。
 - 本体を昇降してフランクフルト平面と眼耳ビームを平行にします。
 - 前歯部根尖（目安は下顎3番中央）と前歯部断層域マークを合わせます。




6. 固定
- 額押さえを額にフィットさせ固定レバーで固定します。
（図9）
- 補足：ヘッドバンドは使用しないで下さい。

7. 撮影
- X線照射スイッチを押し、撮影を行います。



8. 画像転送～保存
- 撮影後、確認ダイアログ（図10）が表示されますので、続けて診断される場合は「表示」をクリックして下さい。

**注意**

1. X線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者のX線撮影は法律により禁止されています。

2. 患者にはX線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。

3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者への使用は避けてください。

4. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。